

4月29日（水・昭和の日）の公開授業

（表の見方）

【科目名】	担当教員名	開講場所
授業時間および当日の講義タイトル		
当科目の概要（シラバスの「授業内容」より抜粋）		

【基礎ゼミⅠ】 難易度：入門科目	担当：石川路子・永廣顕・春日教測・柘植隆宏・寺尾建	5号館2階・4階
---------------------	---------------------------	----------

13:00～14:30 第4回：教員によるリレー講義（各教室で担当教員と講義内容が異なります。）

☆「自分の答えを探してみよう！」（担当教員：石川路子）（開講場所：5号館4階 5-406 講義室）

大学で学ぶことの意義の一つは「答えが一つじゃないことを学ぶ」こと、そして「自分なりの答えを導く」こと。グループ毎にさまざまな問いに答えながら、自分の意見を他人に上手く伝える方法、そして、オリジナリティの高い魅力的な答えを探す方法を学んでみましょう！

☆「私たちの生活と財政」（担当教員：永廣顕）（開講場所：5号館4階 5-412 講義室）

「財政」と聞くと、堅苦しくて難しい印象を持つかもしれません。しかし、財政問題は、日常生活と密接に関わり、ニュース等で毎日のように話題となっている身近な存在なのです。この授業では、私たちの生活と財政との関わりについて学び、受講生のみなさんに現在の財政問題に関心を持ってもらうことを目的としています。

☆「産業の『地図』を知ろう」（担当教員：春日教測）（開講場所：5号館4階 5-407 講義室）

市場には規模や歴史の異なる多くの産業があるため、何の知識もないまま特定の産業を知ろうとすると迷子になってしまいます。見知らぬ街を歩くときに地図を参照することが有効であると同様、産業を知る際にも「地図」を見ることが効果的です。この授業では参照すべき産業の「地図」を紹介し、「地図」の見方や注目すべき点等について解説します。

☆「環境問題を経済学で考えよう」（担当教員：柘植隆宏）（開講場所：5号館4階 5-419 講義室）

地球温暖化、ごみ問題、そして原発事故。豊かで便利な世の中になる一方で、環境問題は深刻になる一方です。どうすれば「環境を守ること」と「豊かで便利になること」とを両立させられるのでしょうか。経済学を使って、いっしょに考えてみましょう。

☆「甲南大学経済学部入門 [KISOZEMIX 2015]」（担当教員：寺尾建）（開講場所：5号館2階 525 講義室）

「自分でたしかめる」「ほんとうのことを知る」「徹底的に考える」「出し惜しみをしない」「定見をもつ」「心を開く」「人を思いやる」「勇気を出す」「慌てない」「後始末をする」——学校で習うことを遥かに越えて自ら学ぶ人になるために、甲南大学経済学部を卒業するまでに必ず身につけてほしいことについて、新入生のみなさんと一緒に考えます（テーマ曲もあります）。

「基礎ゼミⅠ」とは・・・？

⇒内容を「甲南大学経済学部入門」として、甲南大学経済学部に入學したみなさんが充実した大学生活を送るための足がかりとなることを目的とします。大学生となったみなさんが新たな自分を発見するためのきっかけを提供するために、経済の問題にこだわらず、政治・文化・社会・科学・芸術・スポーツなど、さまざまな分野の話題・問題を取り上げます。

【ゼミⅡ】	担当：石川路子・永廣顕・春日教測・柘植隆宏・寺尾建	5号館4階・5階 2号館4階
14:40～16:10 第4回：演習（各教室で担当教員と講義内容が異なります。）		
<p>☆石川路子ゼミ（開講場所：5号館4階 5-409 講義室）</p> <p>〔テーマ〕「よりよい地域をつくるためにすべきこと」は何かを考えていきます。分野は都市経済学・地域経済学です。</p> <p>〔内 容〕ゼミでは、皆さんの住んでいる（知っている）都市や地域の抱える問題を扱います。これらの問題を自分自身で発見し、その解決策を経済学的に考えていきます。これらの問題をより「正しく」そして「深く」理解するために、適宜フィールドワークを行います。</p> <p>☆永廣顕ゼミ（開講場所：5号館4階 5-509 講義室）</p> <p>〔テーマ〕 転換期の日本財政</p> <p>〔内 容〕 転換期にある日本財政の諸問題（財政危機、税制改革、公的年金改革など）について、理論、歴史、制度、政策に目配りしながら多角的、総合的に検討します。</p> <p>☆春日教測ゼミ（開講場所：5号館4階 5-417 講義室）</p> <p>〔テーマ〕 企業と産業の経済分析</p> <p>〔内 容〕 日本にはどのような産業があるか、また各産業はどのような企業群から構成されておりどのような競争が行われているか、等について基礎的知識と分析スキルを修得し、将来を展望します。</p> <p>☆柘植隆宏ゼミ（開講場所：2号館4階 241 講義室）</p> <p>〔テーマ〕 環境経済学</p> <p>〔内 容〕 本ゼミでは環境経済学を学びます。環境経済学とは、経済学を用いて環境問題の原因を解明し、有効な対策を考える分野です。</p> <p>☆寺尾建ゼミ（開講場所：5号館4階 5-412 講義室）</p> <p>〔テーマ〕 現代経済学の基礎（ゼミⅠ）、応用（ゼミⅡ）、発展ならびに実践（ゼミⅢ）。</p> <p>〔内 容〕 経済学を学ぶのではなく、経済学で学びます。</p>		
<p>「ゼミⅡ」とは・・・？</p> <p>⇒甲南大学経済学部では、2年次後期から自分が研究したい分野の先生のゼミに所属し、2年次で「ゼミⅠ」、3年次で「ゼミⅡ」、4年次で「ゼミⅢ」を履修して段階的に学んでいきます。「ゼミⅡ」では、毎年11月に開催される各ゼミ対抗の「インナーゼミナール大会」を目標に、各ゼミで様々な研究を進めています。</p>		

【金融政策Ⅰ】 難易度：上級科目	担当：筒井義郎	511 講義室〔5号館1階〕
10：40～12：10 第4回：金融政策の効果		
金融政策にはマクロ金融政策とミクロ金融政策がありますが、金融政策Ⅰでは主として閉鎖経済のマクロ金融政策について講義します。マクロ金融政策とは、ケインズ経済学体系の中でのマネーの働きを指します。閉鎖経済とは、外国が無視できる状況の1国経済のことです。これに対して、ミクロ金融政策とは、中央銀行がどのようにマネーを動かすか、動かせるかを指します。後者については金融政策Ⅱで取り上げます。また、もし時間が許せば、(外国を考慮する)開放経済についても取り上げます。		

【経済の歴史と思想】 難易度：入門科目	担当：岡田元浩 (Aクラス) 平井健介 (Bクラス)	521 講義室〔5号館2階〕(Aクラス) 522 講義室〔5号館2階〕(Bクラス)
16:20～17:50		
Aクラス：[経済学の歴史と思想入門の部：クイズに答えて学ぼう！大経済学者と経済体制] アダム・スミスと資本主義③ Bクラス：[経済史入門の部] 工業化②		
この講義は、経済学における歴史的アプローチの重要性を学ぶ入門講義である。全体は経済学の歴史と思想入門(岡田)と経済史入門(平井)の2部から構成され、現代の経済問題を長期的、歴史的な視点と幅広い観点から考える力を養うことを目的としている。		

4月29日(水・昭和の日) 公開講義時間割

時間割	公開講義
1時限目 (9:00～10:30)	—
2時限目 (10:40～12:10)	金融政策Ⅰ
お昼休み (12:10～13:00)	
3時限目 (13:00～14:30)	基礎ゼミⅠ
4時限目 (14:40～16:10)	ゼミⅡ
5時限目 (16:20～17:50)	経済の歴史と思想

1 講義のみの参加でも、全ての講義に参加しても OK です！

今後の祝日公開講義の詳細は、甲南大学経済学部 HP で
随時お知らせしますので、ぜひチェックしてください。

<http://www.konan-u.ac.jp/faculty/economics/>

皆様のお越しをお待ちしております☆